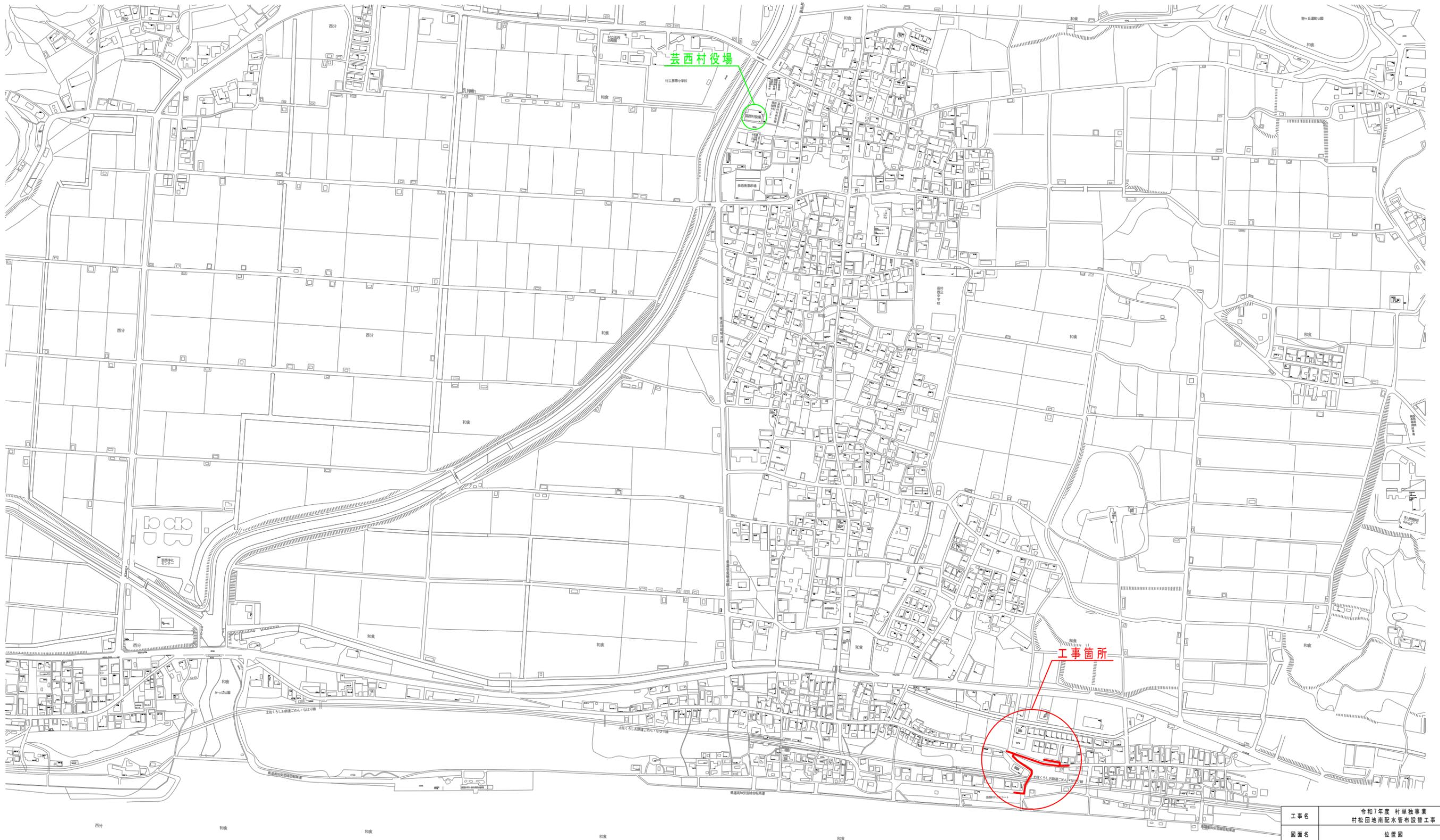




位置図  
S=1:3000



工事名	令和7年度 村単独事業 村松園地雨配水管布設替工事		
図面名	位置図		
作成年月日			
縮尺	1:3000	図面番号	1 / 9
会社名			
事業者名	荻西村 土木環境課		



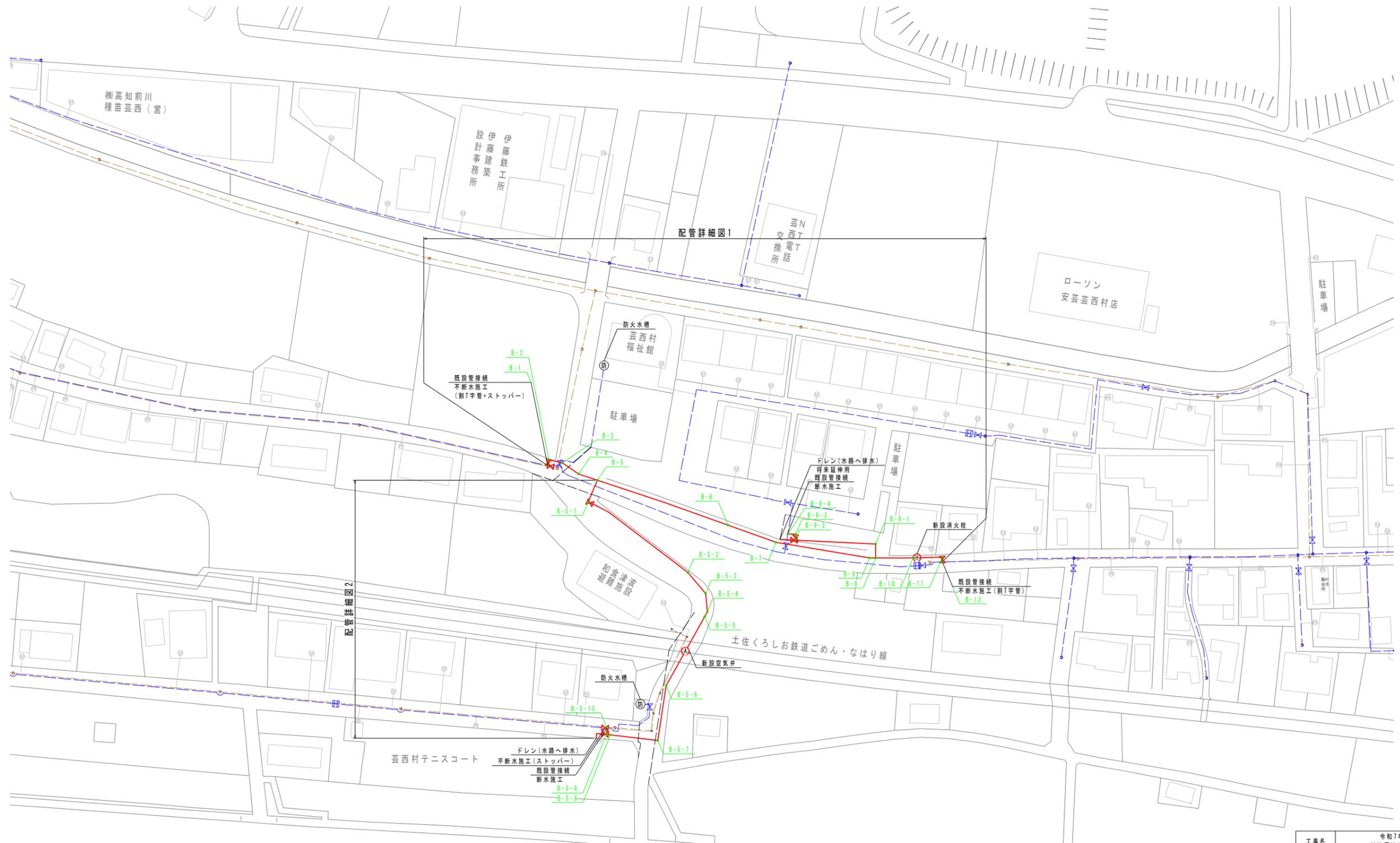
<span style="color: red;">—</span>	配水管(新設)
<span style="color: blue;">- - -</span>	配水管(既設)
<span style="color: orange;">- - -</span>	下水管(既設)

# 一般平面図

S=1:500

(単位:m)

図面	HPPEφ100	HPPEφ50	計
配管詳細図1	110.3	30.9	141.2
配管詳細図2		106.7	106.7
計	110.3	137.6	247.9



工事名	令和7年度 村単独事業 村松団地南配水管布設替工事		
図面名	一般平面図		
作成年月日			
縮尺	1:500	図面番号	2 / 9
会社名			
事業者名	茨西村 土木環境課		



	配水管(新設)
	配水管(既設)
	下水管(既設)

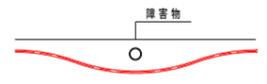
### 配管詳細図1(1)

※HPPE(水道配水用ポリエチレン管)を使用すること。  
 ※継手部はEF(電気融着)継手とすること。  
 ※EF継手の寸法はPOLITECに準拠しているため、各メーカーの使用材料に応じて寸法調整を行うこと。  
 ※メカ形異形管類は、粉体塗装で難燃防止金具付とすること。  
 ※鎮静製形管埋設部には、ポリエチレンスリーブを被覆すること。  
 ※道路埋設部には、管明示シート・管明示テープを布設すること。  
 ※曲げ配管の最小半径を表に示す。表中の数値以下の場合にはベンドを使用すること。  
 ※管割図等の曲管に記す(HB)とは水平方向、(VB)とは垂直方向、(CB)とはひねり方向を示す。  
 ※既設管の埋設位置・土振り等は推定のため、掘削時には十分注意すること。

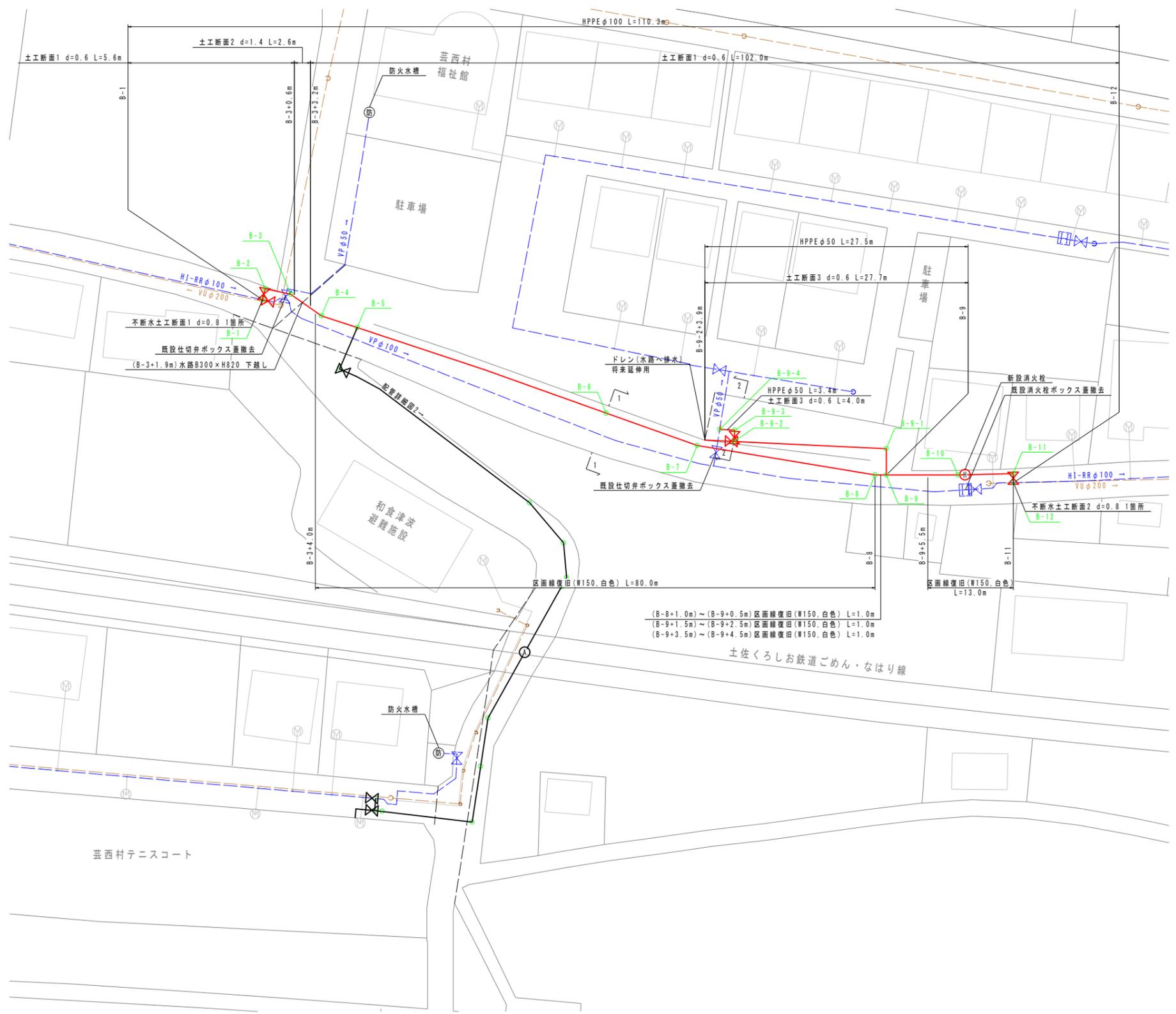
口径	許容曲げ半径
HPPEφ50	5.0m
HPPEφ100	9.5m

### 下越し標準図 S=NON

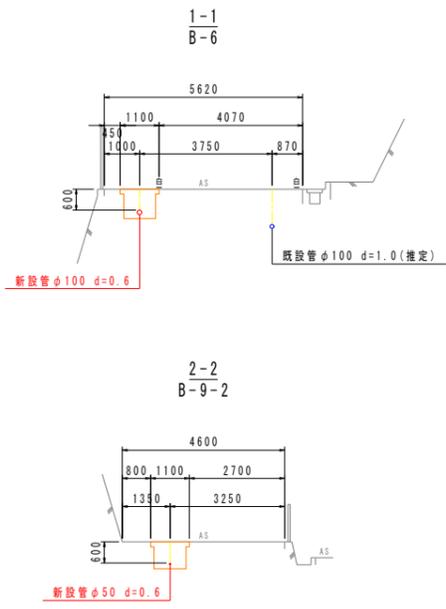
※障害物に応じて曲げ配管を行い、下越しすること。



平面図  
S=1:300



横断面  
S=1:100



測点	短距離 (m)	追加距離 (m)
B-1	0.0	0.0
B-2	1.5	1.5
B-3	3.5	5.0
B-4	5.0	10.0
B-5	5.0	15.0
B-6	35.0	50.0
B-7	15.0	65.0
B-8	24.0	89.0
B-9	1.5	90.5
B-10	9.5	100.0
B-11	9.0	109.0
B-12	1.2	110.2
B-9	0.0	0.0
B-9-1	3.5	3.5
B-9-2	20.3	23.8
B-9-2+3.9m	3.9	27.7
B-9-2	0.0	0.0
B-9-3	1.5	1.5
B-9-4	2.0	3.5
B-9-4+0.5m	0.5	4.0

工事名	令和7年度 村単独事業 村松団地南配水管布設替工事		
図面名	配管詳細図1(1)		
作成年月日			
縮尺	1:300	図面番号	3 / 9
会社名			
事業者名	法西村 土木環境課		

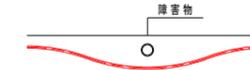
# 配管詳細図1(2)

※HPPE(水道配水用ポリエチレン管)を使用すること。  
 ※継手部はEF(電気融着)継手とすること。  
 ※EF継手の寸法はPOLITECに準拠しているため、各メーカーの使用材料に応じて寸法調整を行うこと。  
 ※メカ形異形管類は、粉体塗装で難防錆金属具付とすること。  
 ※鋼鉄製異形管埋設部には、ポリエチレンスリーブを被覆すること。  
 ※道路埋設部には、管明示シート・管明示テープを布設すること。  
 ※曲げ配管の最小半径を表に示す。表中の数値以下の場合にはベンドを使用すること。  
 ※管割図等の曲管に記す(HB)とは水平方向、(VB)とは垂直方向、(CB)とはひねり方向を示す。  
 ※既設管の埋設位置・土振り等は推定のため、掘削時には十分注意すること。

口径	許容曲げ半径
HPPEφ50	5.0m
HPPEφ100	9.5m

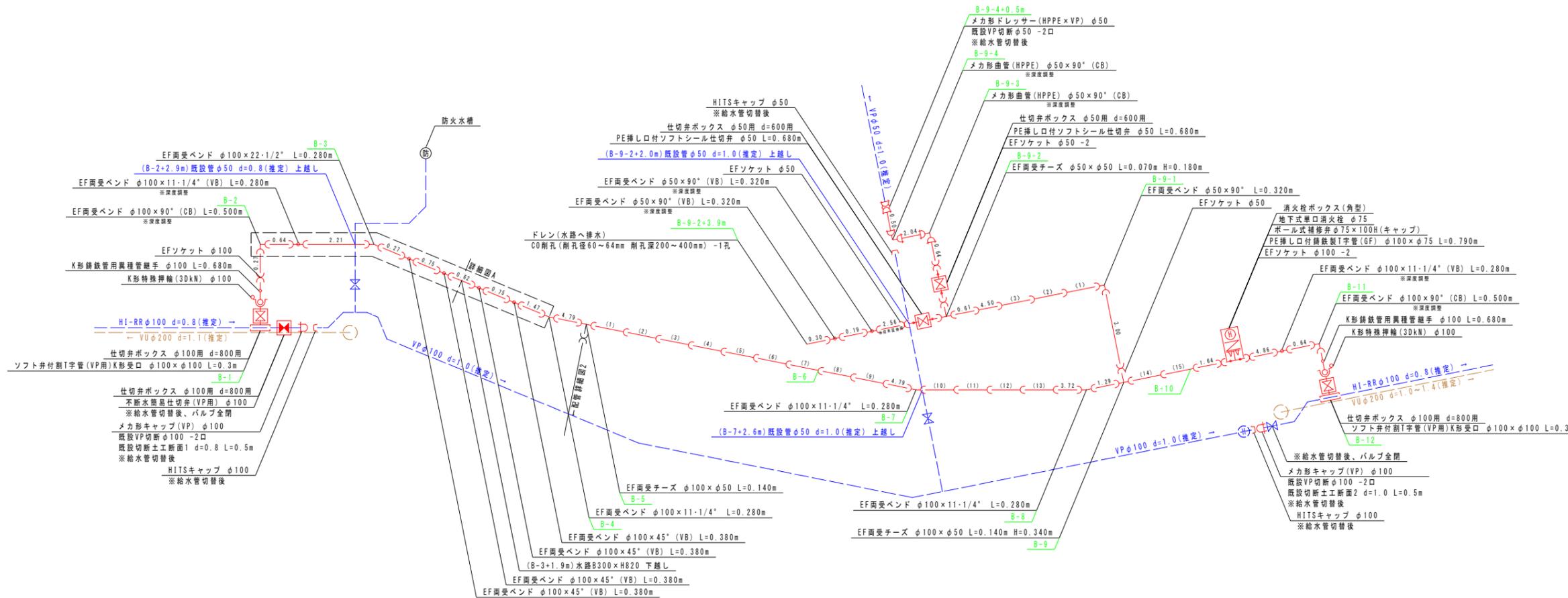
## 下越し標準図 S=NON

※障害物に応じて曲げ配管を行い、下越しすること。

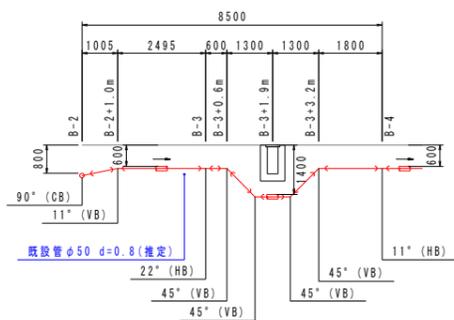


測点	短距離(m)	追加距離(m)
B-1	0.0	0.0
B-2	1.5	1.5
B-3	3.5	5.0
B-4	5.0	10.0
B-5	5.0	15.0
B-6	35.0	50.0
B-7	15.0	65.0
B-8	24.0	89.0
B-9	1.5	90.5
B-10	9.5	100.0
B-11	9.0	109.0
B-12	1.2	110.2
B-9	0.0	0.0
B-9-1	3.5	3.5
B-9-2	20.3	23.8
B-9-2+3.9m	3.9	27.7
B-9-2	0.0	0.0
B-9-3	1.5	1.5
B-9-4	2.0	3.5
B-9-4+0.5m	0.5	4.0

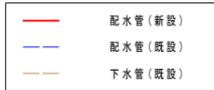
## 管割図 S=NON



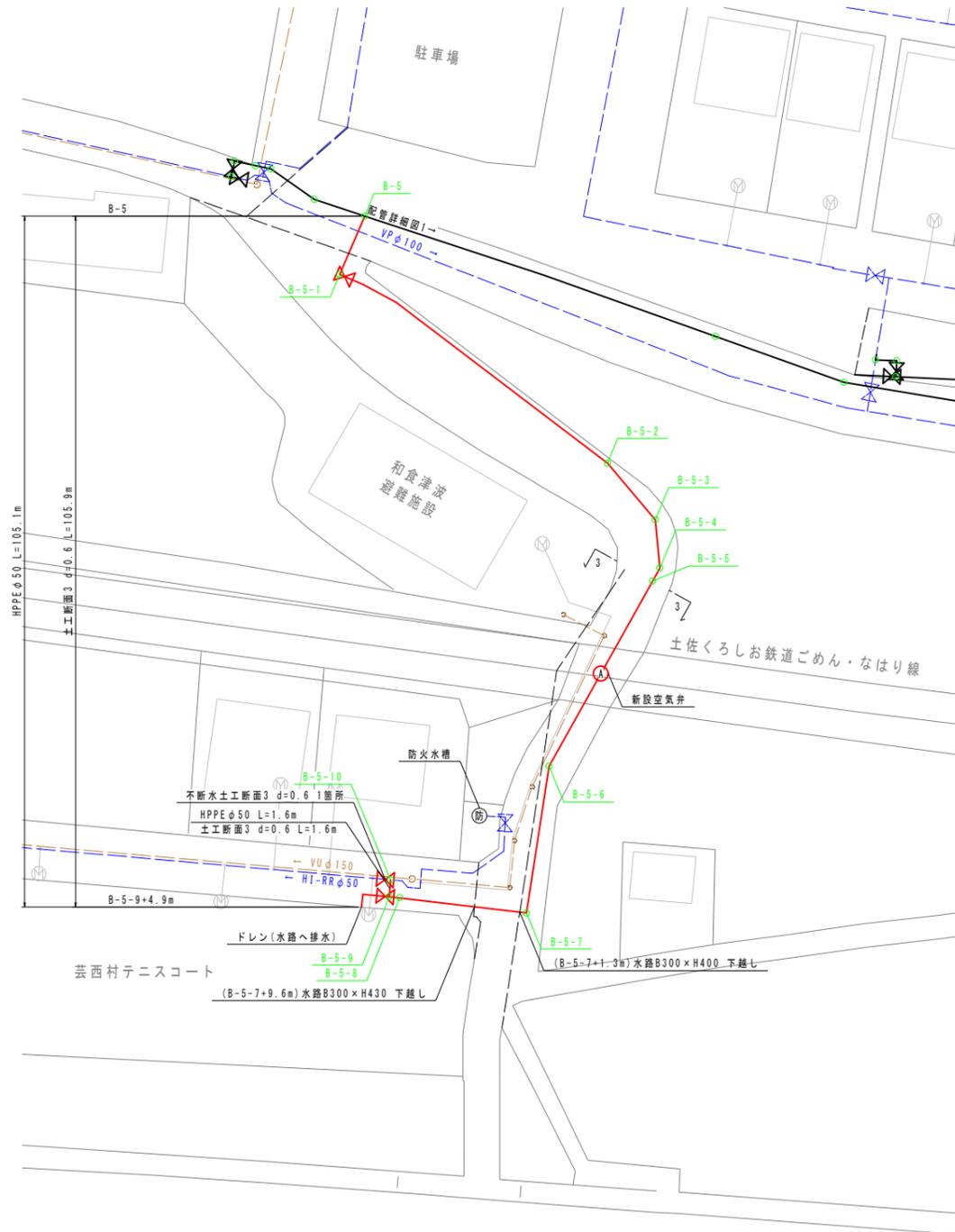
詳細図A  
S=1:100



工事名	令和7年度 村単独事業 村校区地内配水管布設替工事		
図面名	配管詳細図1(2)		
作成年月日			
縮尺	1:100	図面番号	4 / 9
会社名			
事業者名	荻西村 土木環境課		



平面図  
S=1:300



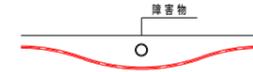
## 配管詳細図2

※HPPE(水道配水用ポリエチレン管)を使用すること。  
 ※継手部はEF(電気融着)継手とすること。  
 ※EF継手の寸法はPOLITECに準拠しているため、各メーカーの使用材料に応じて寸法調整を行うこと。  
 ※メカ形異形管類は、粉体塗装で難防錆止金具付とすること。  
 ※鋼鉄異形管類には、ポリエチレンスリーブを被覆すること。  
 ※道路埋設部には、管明シート・管明示テープを布設すること。  
 ※曲げ配管の最小半径を表に示す。表中の数値以下の場合にはベンドを使用すること。  
 ※管割図等の曲管に記す(HB)とは水平方向、(VB)とは垂直方向、(OB)とはひねり方向を示す。  
 ※既設管の埋設位置・土振り等は推定のため、掘削時には十分注意すること。

口径	許容曲げ半径
HPPEφ50	5.0m

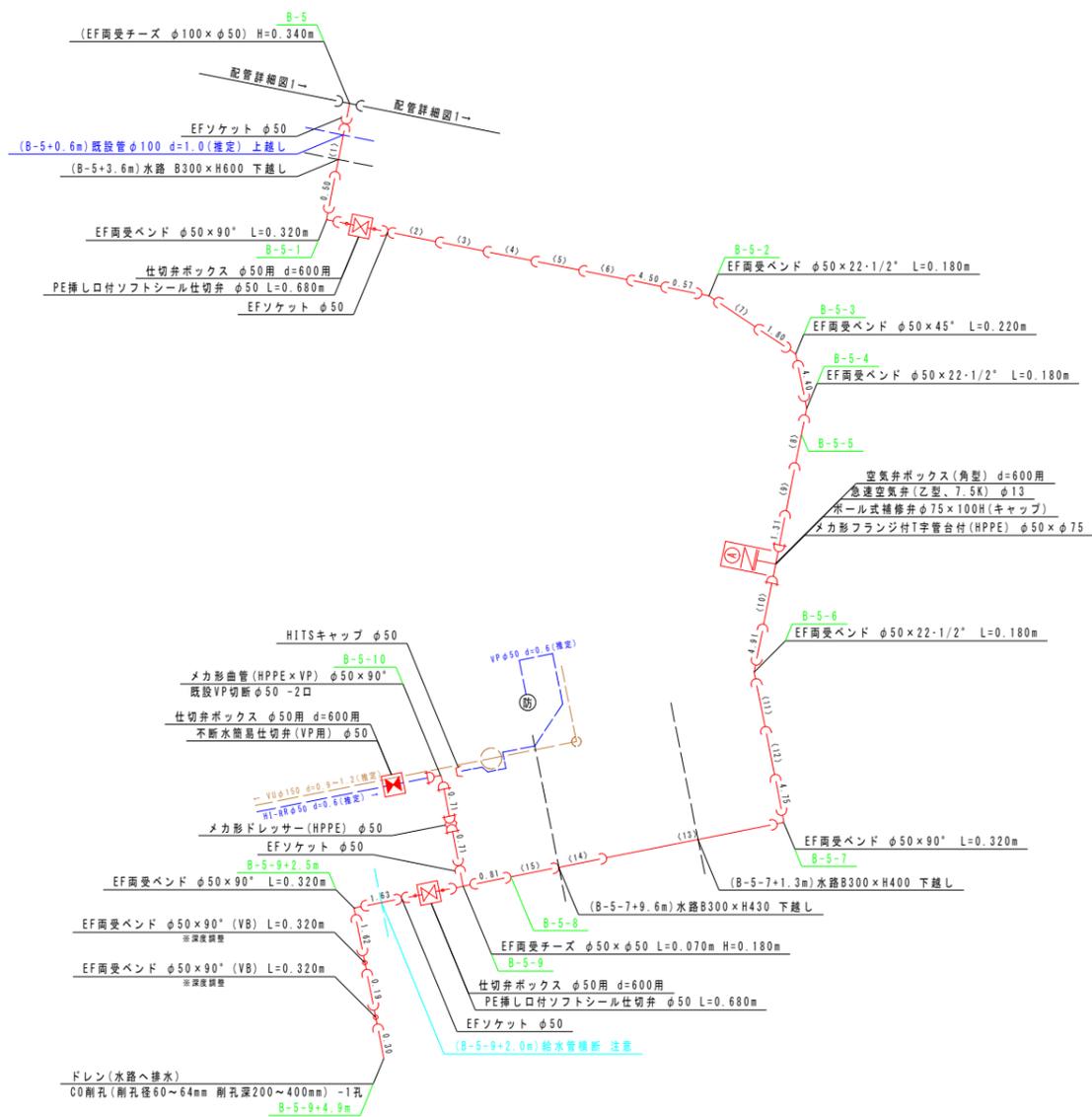
## 下越し標準図 S=NON

※障害物に応じて曲げ配管を行い、下越しすること。

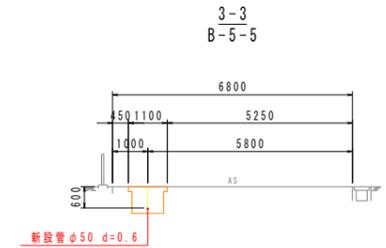


測点	短距離(m)	追加距離(m)
B-5	0.0	0.0
B-5-1	6.0	6.0
B-5-2	31.0	37.0
B-5-3	7.0	44.0
B-5-4	4.6	48.6
B-5-5	1.4	50.0
B-5-6	20.0	70.0
B-5-6+6.5m	6.5	76.5
B-5-7	8.5	85.0
B-5-8	15.0	100.0
B-5-9	1.0	101.0
B-5-9+2.5m	2.5	103.5
B-5-9+4.9m	2.4	105.9
B-5-9	0.0	0.0
B-5-10	1.6	1.6

管割図  
S=NON



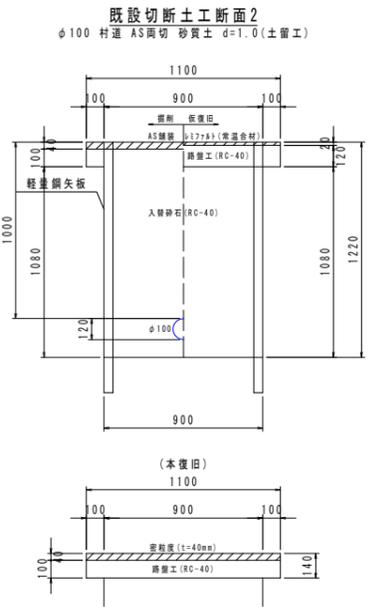
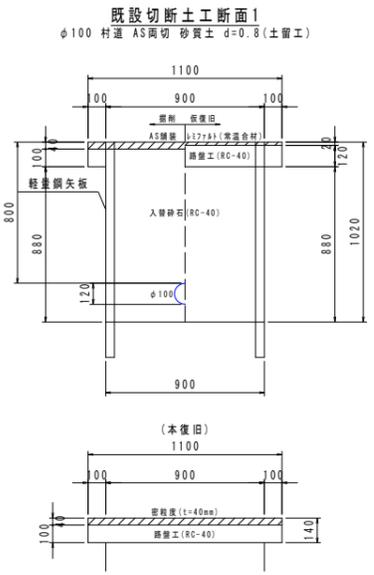
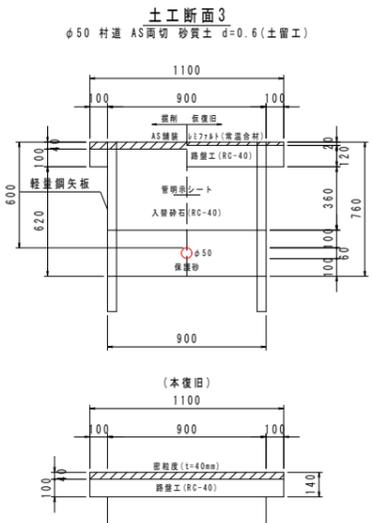
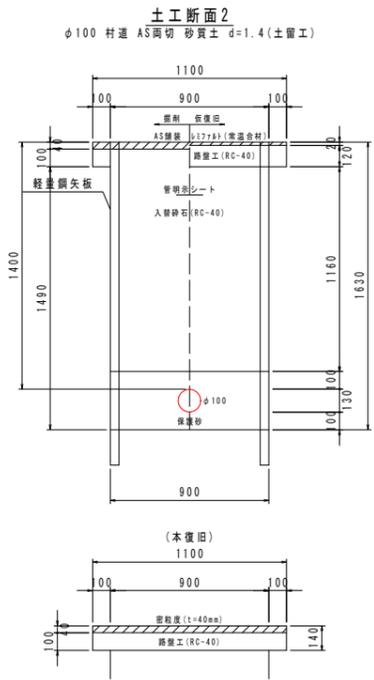
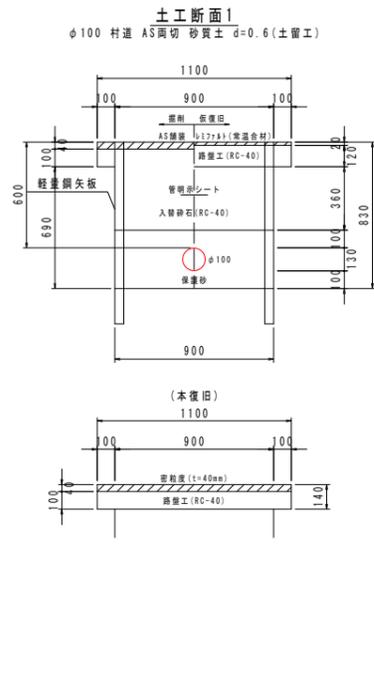
横断面  
S=1:100



工事名	令和7年度 村単独事業 村松団地南配水管布設替工事		
図面名	配管詳細図2		
作成年月日			
縮尺	1:300	図面番号	5 / 9
会社名			
事業者名	芸西村 土木環境課		

# 掘削断面図(1)

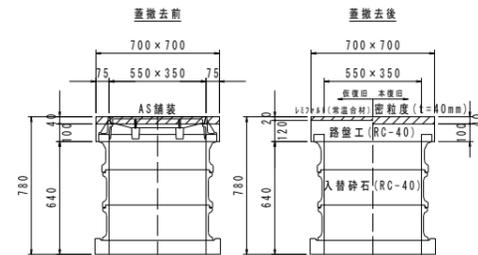
S=1:20



## 既設消火栓ボックス蓋撤去標準図

S=1:20

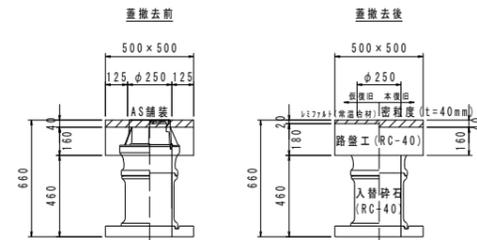
※蓋撤去後、ボックス内を入替砕石にて充填処理すること。



## 既設仕切弁ボックス蓋撤去標準図

S=1:20

※蓋撤去後、ボックス内を入替砕石にて充填処理すること。

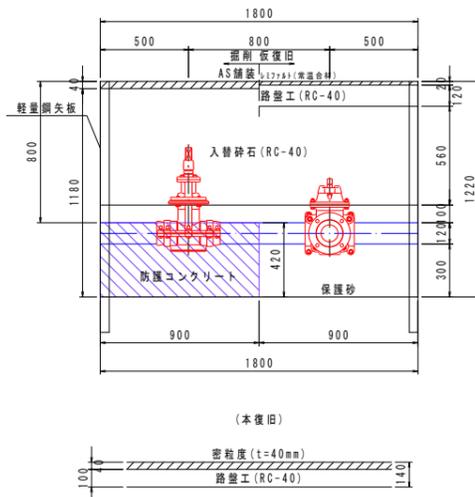
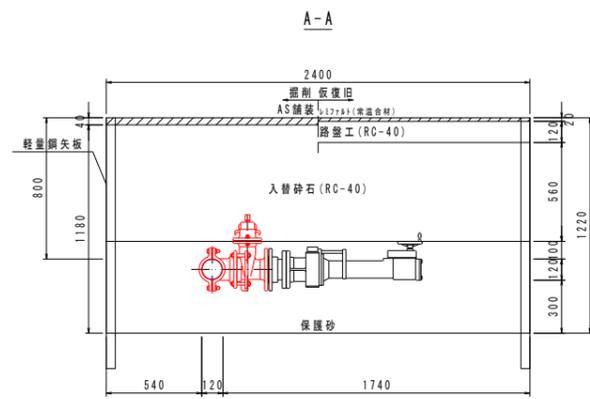
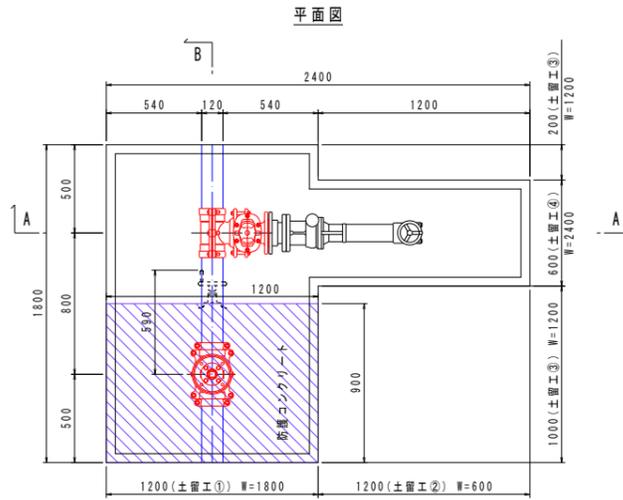


工事名	令和7年度 村単独事業 村松団地南配水管布設替工事		
図面名	掘削断面図(1)		
作成年月日			
縮尺	1:20	図面番号	6 / 9
会社名			
事業者名	荻西村 土木環境課		

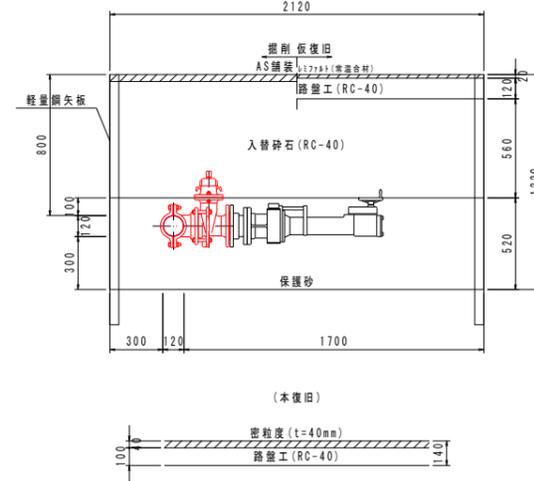
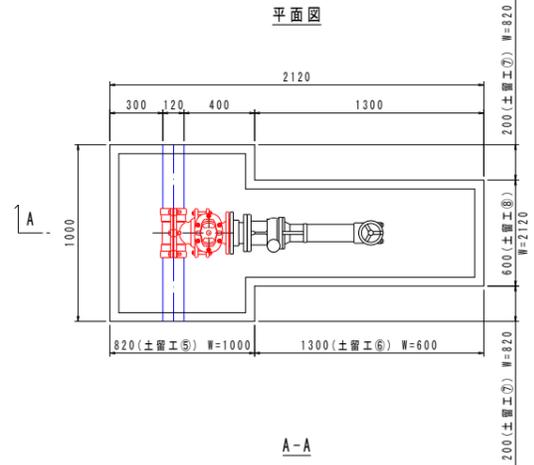
# 掘削断面図(2)

S=1:20

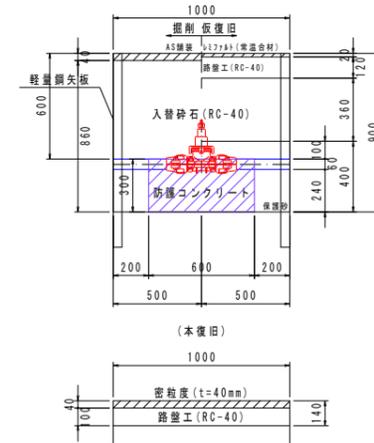
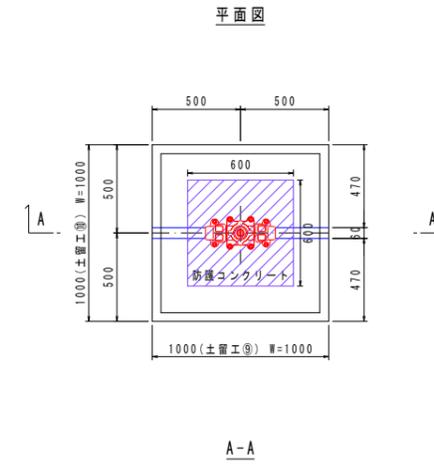
**不断水工断面1**  
 $\phi 100 \times \phi 100$  村道 AS 砂質土  $d=0.8$  (土留工)  
 ※仕切弁操作は埋め戻し後に行うこと。  
 ※割1字管受台及びバルブ受台を準備すること。  
 ※作業床の状態が悪い場合は、砕石基礎を検討すること。  
 ※下水管が埋設されているため、掘削時には注意すること。



**不断水工断面2**  
 $\phi 100 \times \phi 100$  村道 AS 砂質土  $d=0.8$  (土留工)  
 ※仕切弁操作は埋め戻し後に行うこと。  
 ※割1字管受台を準備すること。  
 ※作業床の状態が悪い場合は、砕石基礎を検討すること。  
 ※下水管が埋設されているため、掘削時には注意すること。



**不断水工断面3**  
 $\phi 50$  村道 AS 砂質土  $d=0.6$  (土留工)  
 ※仕切弁操作は埋め戻し後に行うこと。  
 ※バルブ受台を準備すること。  
 ※作業床の状態が悪い場合は、砕石基礎を検討すること。  
 ※下水管が埋設されているため、掘削時には注意すること。

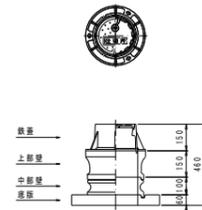


工事名	令和7年度 村単独事業 村松団地南配水管布設替工事		
図面名	掘削断面図(2)		
作成年月日			
縮尺	1:20	図面番号	7 / 9
会社名			
事業者名	荻西村 土木環境課		

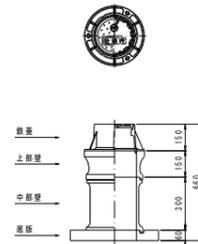
# ボックス標準図

S=1:20

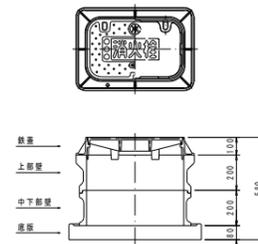
仕切弁ボックス  
円形1号 d=600用(φ50)



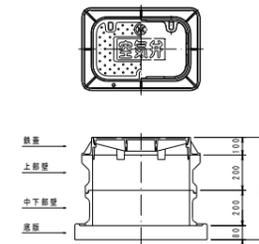
仕切弁ボックス  
円形1号 d=800用(φ100)



消火栓ボックス(角形)



空気弁ボックス(角形)



# 土留工

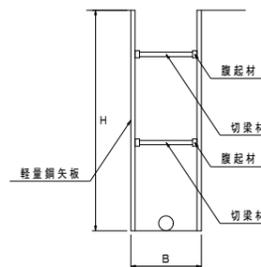
S=1:40

※砂質土のため、掘削深度1.5m以下でも土留工を行うこと。

標準平面図



標準断面図

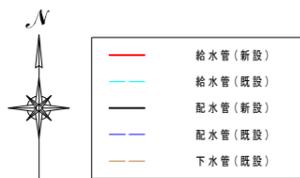


掘削深度 (H)	支保工
1.5m~2.0m以下	1段
2.0m~3.5m以下	2段
3.5m~4.0m未満	3段

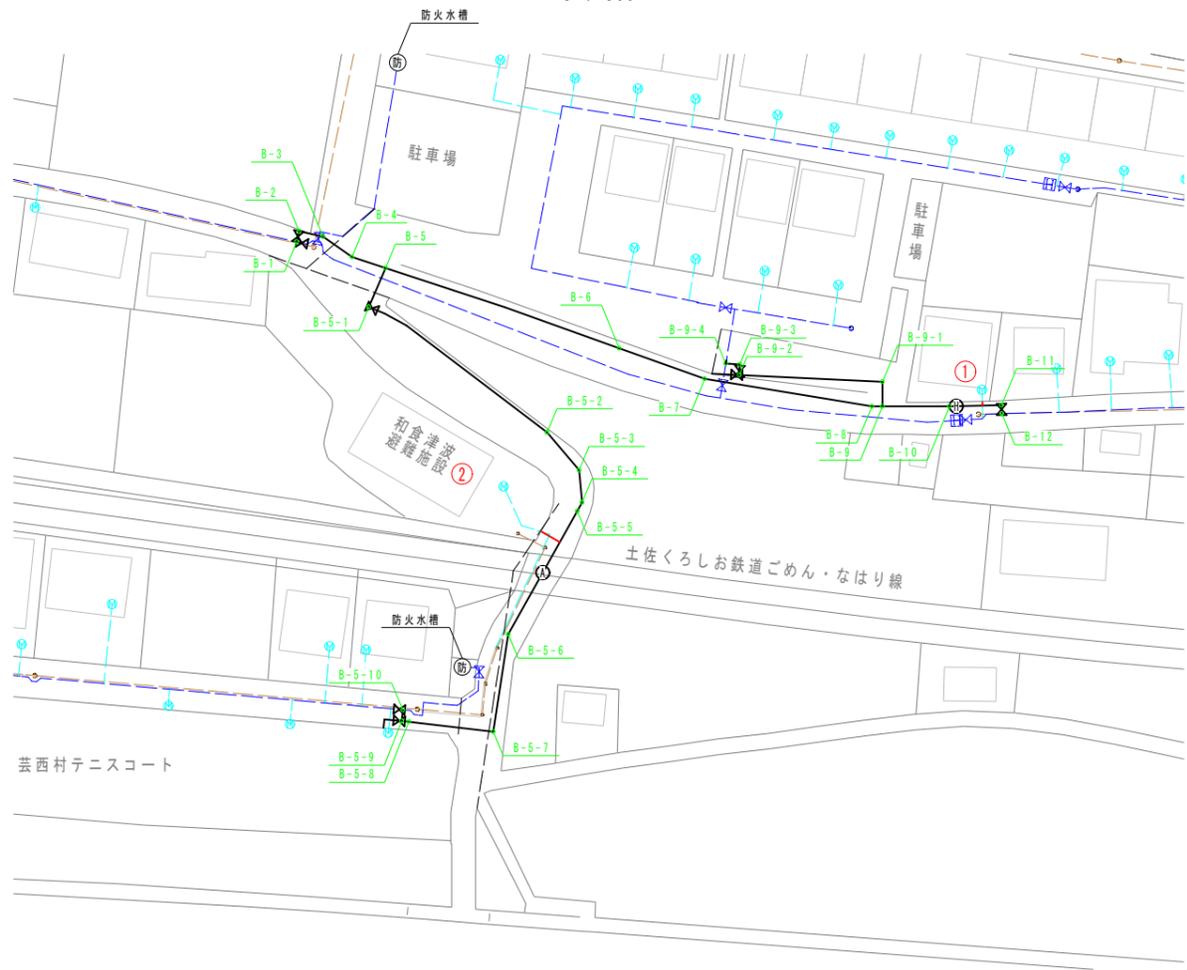
工事名	令和7年度 村単独事業 村松団地南配水管布設替工事		
図面名	ボックス標準図、土留工		
作成年月日			
縮尺	1:20	図面番号	8 / 9
会社名			
事業者名	荻西村 土木環境課		

# 給水管詳細図

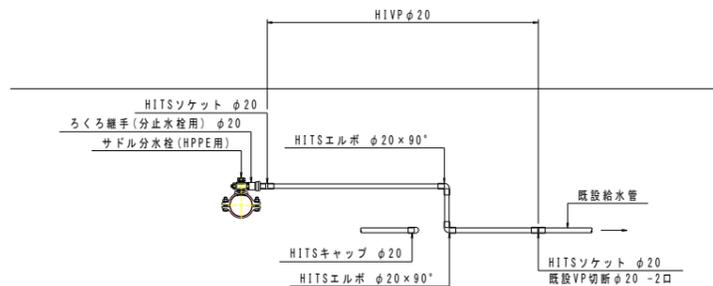
※既設給水管埋設位置及び口径は推定のため、現地調査を十分に行うこと。  
 ※給水管は公道内で接続すること。  
 ※担当職員と協議の上施工すること。



平面図  
S=1:500

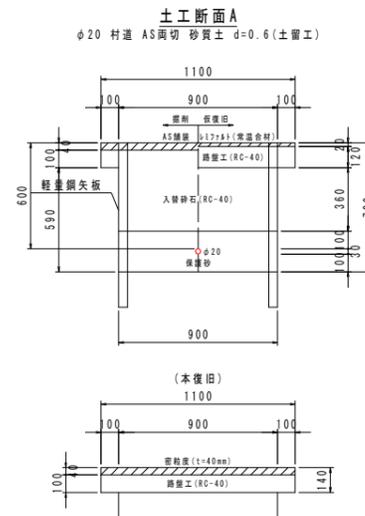


標準図



名称	規格	単位	合計	給水家屋	
				①	②
サドル分水栓 (HPPE用)	φ100×φ20	個	1	1	
	φ50×φ20	個	1		1
ろくろ継手 (分止水栓用)	φ20	個	2	1	1
HIVP	φ20	m	8.0	1.5	6.5
HITSソケット	φ20	個	4	2	2
HITSエルボ 90°	φ20	個	4	2	2
HITSキャップ	φ20	個	2	1	1
塩ビ管切断工	φ20	口	6	3	3
既設塩ビ管切断工	φ20	口	4	2	2
土工断面A	φ20 AS両切 d=0.6	m	7.0	1.0	6.0

掘削断面図  
S=1:20



工事名	令和7年度 村単独事業 村松団地南配水管布設替工事		
図面名	給水管詳細図		
作成年月日			
縮尺	1:500	図面番号	9 / 9
会社名			
事業者名	芸西村 土木環境課		